

断酒 いばらき

平成26年
1月号

発行責任者: 柴山 光夫

編集: 広報部

体験談

真砂支部 三浦 照夫

【目標-90歳過ぎでお迎えを！】

平成22年5月31日、新阿武山病院へお世話になり、同年8月31日火曜日に退院、翌9月1日水曜日に真砂支部入会、現在に至っています。これは第2回目の入院で、その8年前に1回目の入院をしています。日付は覚えていません。シャワーになっていたのが5月か6月頃だったのでしょう。70日余りでした。

1回目の入院後、約6か月程、茨木支部に入会したが、時々2合程飲んでいたし、例会に出席するのが、面倒でしたので、退会しました。面白くなかったからです。

病院には飲みながら通院していました、もちろん診察日当日は飲んでませんが、診察後、富田駅でワンカップを手にしたことも、たまにはありました。

また、体力が少々残っていたので、団地の自治会の役や、山歩き合唱団等には参加していましたが、最終的に体が動かなくなりました。糖尿病の悪化が原因だと思います。2回目の入院は、自分で手続きをし、関係している方面に事情を電話して入院しました。入院中の食事は糖尿食で、入院中の他の人達の食事より少ないので非常に淋しい思いをしました。

2回目の時は、これを機会に酒を完全にやめてやると肝に命じたのですが、退院後どうなるか分からないので、まじめに例会出席し、先輩方の体験談を真面目に聞かせてもらいました。

退院後、合唱団や年金者組合、山歩き等に顔を出していましたが9月頃具合が悪くなりました。一応近所の病院で糖尿病の薬は貰っていましたが(かなり良い薬が出ていました)体が動かなくなって済生会病院に35日程入院しました。アルコール依存症も一生なおらない病気です。しかし、回復はできます。アルコールを飲まなくても、死にはしないんだと私はよく言いましたが、どの程度回復しているかは分かりません、脳の病気だから。その点、糖尿は血液検査で、その時の状態が分かるので、遣る気になれば目標を目指して努力できます。

私としては90歳ぐらい迄生きたいのです。両親がその歳迄生きていたから。以前から考えていたのだけれど、完治はできないが回復はできるとのこと。回復とはどう言うことなのか？糖尿病からの知識で言うと、血糖コントロールが良ければ、健康な人達と同様に社会生活ができる、と言うことだそうです。血糖をコントロールすることは大変なことですが、これをサボったら、木阿弥です。アルコール依存症も同じではないでしょうか。断酒しようと心に決める機会は限りなく少ないのです。滅多にありません。このチャンスを生かさなければ勿体ないと思います。70歳過ぎて飲んだ者として、一言 私の糖尿病はアルコールによる合併症の一つです。アルコールによる合併症は、糖尿病以外に沢山あります。若くして依存症になられた方々に、ぜひ耐えて、乗り切って下さるよう、断酒継続に励まれることを、心より願っております。

私は一病息災ではなく二病息災を信じて、
例会出席、一日断酒、仲間と共に！！

1月度断酒表彰者

S Eさん 3ヶ月 真砂支部
T Eさん 6ヶ月 真砂支部

大阪府断及び朋友断酒会 行事案内

創立29年東幡断酒会一日研修会

2月2日(日) 10:00~16:00

会場:加古川総合文化センター

研修費:1,500円 締切:1月25日

第26回大阪府断酒会 アメシストの集い

2月2日(日) 10:30~15:30

会場:東大阪市立市民会館

研修費:1,000円

大阪市断酒連合会 すみれ会31周年記念

2月9日(日) 13:00~16:00

会場:大阪市こころの健康センター

神戸市断酒会 42周年記念

2月23日(日) 13:00~16:00

会場:新長田勤労市民センター

第18回中部ブロック(春季)一泊研修会

併設 愛知県尾張ブロック断酒協議会

第15回一泊体験談の集い

3月1日(土)~2日(日) 受付:11:00~

会場:すいとぴあ江南(江南市勤労会館)

会費:全日程 6,500円 1日のみ 2,500円

2日のみ 1,000円

おたぎ会創立30周年記念例会

3月16日(日) 10:30~16:00

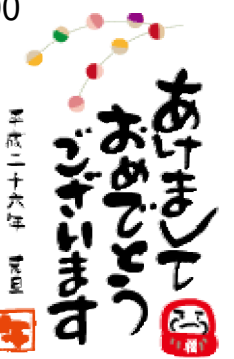
会場:京都府立総合社会福祉会館

会費:無料・昼食有り

きづな会創立44周年記念大会

3月16日(日) 12:30~16:00

会場:高槻現代劇場



「激しさのないところに断酒なし」

松村断酒語録

家族、同僚の協力を得るためには、絶対に呑んではいけない